



# 議会だより

平成29年 8月 1日 発行  
 発行 青森県上北郡横浜町議会  
 〒039-4145  
 青森県上北郡横浜町字寺下35  
 電話 (0175) 78-2111  
 F A X (0175) 78-2118  
 編集 議会広報編集委員会

## 第2ちどり保育園運動会



撮影日：平成29年 6月24日

●第2回定例町議会 審議した主な内容 ..... P 2～

●一般質問 2人登壇 (沖津正博・野坂浩二) ..... P 3～

●第3回臨時町議会 審議した主な内容 ..... P 6～

●活動報告 ..... P 7～

# 平成29年 第2回定例町議会

6月定例会は、6月6日（火）から6月8日（木）までの3日間の会期日程で開会し、日程を1日繰り上げて閉会しました。

初日に町長の提案理由の説明があり、報告1件、承認13件、条例案4件、その他1件、補正予算案5件、合計24案件を慎重審査し、原案のとおり承認、可決しました。

一般質問には沖津正博議員、野坂浩二議員の2人が登壇し、職員対応と窓口対応についてや、国保税の引き下げを求めるなど多方面にわたって論戦を展開しました。

## 審議した主な内容

### 専決処分

（全議案原案承認）

- ・横浜町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例
- ・横浜町町税条例等の一部を改正する条例
- ・横浜町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例
- ・横浜町原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例
- ・横浜町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例
- ・横浜町承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例

### 議案審議

（全議案原案可決）

- ・平成28年度横浜町一般会計補正予算
- ・平成28年度横浜町国民健康保険特別会計補正予算
- ・平成28年度横浜町介護保険特別会計補正予算
- ・平成28年度横浜町後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・平成28年度百目木地区農業集落排水事業特別会計補正予算
- ・平成28年度横浜町下水道事業特別会計補正予算
- ・平成28年度横浜町水道事業会計補正予算

### ◎横浜町教職員住宅条例の一部を改正する条例

小学校統合により使用されていない教職員住宅について、用途廃止とするため提案するものです。

◎横浜町文化財保護条例の全部を改正する条例  
横浜町文化財保護条例の形式変更をするともに、町文化財指定に係る事務取扱について整理するため提案するものです。

◎横浜町学校給食センターの設置、管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例  
平成29年4月1日に採用された「栄養教諭」職について、改正前の条例では「学校栄養士」となっているため、職名の変更に対応できるよう改正するため提案するものです。

◎横浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
地方税法施行令の一部を改正する等の政令（平成29年政令第118号）の公布に伴い、当町における国民健康保険税条例の一部を改正するため提案するものです。

◎町長が専決処分できる軽易な事項の指定について  
地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により、町長において専決処分することのできる軽易な事項を指定するため提案するものです。

### 報告

◎平成28年度横浜町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

- ・個人番号カード交付事業
- ・横浜町地区漁港施設機能強化事業
- ・公共土木施設災害復旧事業

3事業について、平成29年度へ予算を繰越すものです。

## 《平成29年度 補正予算》

### ◎一般会計

歳入歳出それぞれ6,031万7千円を追加し、予算総額を38億431万7千円とする。

#### \*歳入\*

- ・ 財政調整基金繰入金 4,700万円の増額
- ・ 未来を変える元気事業費補助金 666万6千円増額
- ・ 菜の花プラザ維持補修基金繰入金 101万7千円増額

#### \*歳出\*

- ・ 公共施設等解体工事費 1,030万円皆増
- ・ 児童センター建設基本計画策定業務委託料 390万円皆増
- ・ 農業振興地域整備計画策定支援業務委託料 150万円皆増
- ・ 菜の花プラザエアコン入替工事 600万円皆増
- ・ 定住促進事業補助金 200万円増額

### ◎国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ387万円を追加し、予算総額を8億7,151万2千円とする。

### ◎介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ345万4千円を追加し、予算総額を7億3,783万7千円とする。

### ◎後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ17万円を追加し、予算総額を5,236万5千円とする。

### ◎水道事業会計

支出は3条予算で448万2千円減額、4条予算の補正はありません。

## 一般質問



野坂 浩二 議員

### 質問1 職員教育と窓口対応について

3月に行われた行政懇談会において、町民の方から職員教育についての意見があり、特に挨拶についてよく言われる所であります。今年度も職員が採用されていますが、新人教育はどのようにされているのか。

また、町民がお昼休みを利用して役場に手続きに来ますが、担当者が不在等で用件が済まないことがあるようです。昼休み時間帯の窓口対応はどのような取り組みがなされているのかお伺いします。

### 答弁(町長)

#### 窓口業務を町民のニーズに応えることができるように検討していきたい

新採用については、青森県総務部人事課が青森県自治研修所で前期4泊5日、後期3泊4日の新採用研修を受講させ、公務員としての自覚と意識の確立を図り、接遇や基礎知識、対応力を養わせております。

今後におきましても、あいさつ等をしつかりするよう指導してまいります。昼休みの窓口対応についてであります。現在の対応といたしましては

す。



町民課、税務課におきまして、昼の窓口業務を職員が交代で対応しております。

今後におきましては、窓口業務を町民のニーズに応えることができるように検討していきたいと考えております。

## 質問2

### 当町における不登校生徒の現状と対応について

行政懇談会において、不登校生徒だった保護者の方から、過去に学校側が不適切な対応をしたとのお話がありました。事実とすれば、非常に残念な対応がなされたと感じました。そこで、現在の不登校生徒の現状とそれに対する対応、取り組みについてお伺いします。

## 答弁(教育長)

小中一体となり教育相談体制の構築促進により一層努力してまいります。

当町におきましては、学校指導体制の充実等魅力ある「より良い学校づくり」やいじめ、暴力行為、体罰等を許さない学校づくり、不登校児童生徒に対する多様で適切な教育機会の確保を行い、児童生徒の学習状況に応じた指導等の実施に努め、また、個々の不登校児童生徒に応じた支援計画を必要に応じ地域・家庭・学校との連携により策定し、教職員の多忙感を招かぬよう配慮しつつ、関係機関との情報共有、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーのアドバイスをあおぎながら、小中一体となり教育相談体制の構築促進により一層努力してまいります。

## 質問3

### 菜の花クリニックにおける看護師不足について

当町において唯一の医療機関である菜の花クリニックでは、看護師1名が退職し、もう1名の看護師も産休に入るとの事です。5月26日現在、求人募集に1名の応募があるようですが、依然として看護師が不足している状況です。町として何らかの支援・協力をする考えがないかお伺いします。

ニックでは、看護師1名が退職し、もう1名の看護師も産休に入るとの事です。5月26日現在、求人募集に1名の応募があるようですが、依然として看護師が不足している状況です。町として何らかの支援・協力をする考えがないかお伺いします。



## 答弁(町長)

### 安定的な看護師確保に向けた取り組みを支援していききたい

菜の花クリニックにおきましては、ハローワークと看護協会への求人登録と東奥日報夕刊への掲載及び新聞の折り込み広告において看護師の求人募集により1名の応募が

あり、数日中には結論が出る見通しであります。このような状況において、町といたしましても町内唯一の医療機関である菜の花クリニックにおける、安定的な看護師確保に向けた取り組みとして、看護師有資格者の情報提供や町民への声掛け等、支援してまいりたいと考えております。

## 質問4

### 家庭ごみ(ペットボトル)収集について

平成26年度の町のごみ処理状況の実績では、1人1日当たりのごみ排出量は減少しているものの、リサイクル率は低く、青森県は全国最下位、横浜町は県内40市町村中37位と大変低くなっております。

これから夏季になれば飲料の需要が拡大します。中でもペットボトルの収集は月1回のうえ、つぶさないこととなっております。

非常にごみがかさばります。

そこで、ペットボトルの需要が増える夏季期間だけでも、収集日を増やすことができないか伺います。

## 答弁(町長)

### 関係者との協議を行い収集の回数を検討したい

今年度については、すでにゴミの収集日も決まっています、今から変更するとすれば、町民への周知や、ゴミ収集業者との業務委託の契約変更など難しい状況です。

町としては、来年度の日程を決める12月頃までにペットボトル等の排出量の状況把握や、関係者との協議を行い収集の回数を検討したいと考えております。



# 一般質問



沖津 正博 議員

## 質問1

### 国保税の引き下げを求め

来年度から国保が市町村から県単位化になりませんが、今年の2月に2017年度の国保税の一人当たりの試算額が県の資料を基に新聞で報道されました。横浜町は平内町に次ぐ県内2番目に高い180,432円でした。高い国保税は、国の国保補助切り下げが国民の税負担を重くする引き金となってきました。一方町は健康づくりに懸命で、結果的に医療費節約にも貢献しています。しかし、どうしても高

くなる国保税の負担について、一般会計からの繰入（法定外）や国保運営基金の活用も含め引き下げができないか県単位の広域に伴う町の考えを伺います。

また、来年度からの県単位となり、国保運営がどのように変わって来るのか伺います。

## 答弁(町長)

### 国保が抱える問題を解消できるよう努めたい

国保運営基金については、県単位化になった後も、医療給付費の増や保険税の収納不足が生じた場合に備え、引き続き基金を保有し、財政基盤の安定化のために活用していく予定です。

町としては、今後も一般会計から法定外の繰入をすることなく、運営していきたいと考えております。

県単位化となつてからの国保運営については、

これまで、町が単独で運営してきましたが、財政運営の責任主体となる県にも新たに国保特別会計が設置され、徴収した保険税等を納付金として県へ納める形になります。

今後も、町の国保運営につきましても、他市町村同様、「年齢構成が高く医療費水準が高い」、「保険税負担が重い」などの国保が抱える構造的な問題を解消できるよう、国や県と一体になって、問題解消に努めてまいります。

## 質問2

### 空き家対策を求める

屋根トタンが風で飛ぶ危険があるなど放置された空き家が町内にも見受けられます。防災・衛生・景観において住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしています。以前町では実態把握に努めていたとのことでしたが、空き家バンクや地域資源と

しての活用も含め、どのような対応を計画しているのか伺います。

## 答弁(町長)

### 所有者と登録及び活用等の協議をしていきたい

当町におきましては、

平成25年に民生委員にお願いして、担当地域の空き家調査を実施し、161件の空き家が確認されておりあります。その他の管理不十分な空き家につきましては、所有者を確認し、町内会等と連携を図りながら、所有者に対して注意喚起を行って参りたいと考えております。

次に空き家バンクや地域資源としての空き家活用につきましては、具体的な計画は今のところあ



## 質問3

### 再生エネルギーとの共生を図る町条例を

りませんが、今後の取り組みとして、現在の空き家状況について、前回の調査を参考にしながら再度調査を行い、空き家バンクへの登録や、地域資源として活用できるかの判断を行い、所有者と登録及び活用等の協議を行ってまいりたいと考えております。

横浜町は大規模太陽光発電や風力発電の計画が目白押しとなっております。町内に風力事務所を構える1社だけでも将来80基以上の計画があると言われ、「風」が町の貴重な地域資源となることは願ってもないことです。しかし、騒音や景観など地元に住居する環境と共生できなければなりません。一度建設すると運転営業はかなりの長期となります。町は小型風力

発電のガイドラインを策定しましたが、町の将来との共生や広範な事業も内包する強固な指針として条例を新設する考えがないか伺います。

**答弁(町長)**

**ガイドラインの運用を見定めながら検討していきたい**

小型風力発電については、町では、事業計画を把握できていないものも多数あることから「町民の安全・安心及び環境保全、景観形成の視点から」町に小型風力を建設する際のルールとしてガイドラインを定めております。このようなことから、町としても現在のガイドラインの下で、事業者の自主的な地域との共生と乱開発の抑制を求めている、ガイドラインの運用を見定めながら必要に応じて検討していきたいと考えております。

**第3回臨時町議会**

臨時町議会が6月22日に開催され、1案件を審議し、原案のとおり可決しました。

〈審議した内容〉

◎工事請負契約の締結について

平成29年6月13日入札の結果、落札者が決定したので平成29年6月14日付けで仮契約を締結した公産第1号横浜町トレーニングセンター改修工事について、横浜町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により提案するものです。

【工事名】

横浜町トレーニングセンター改修工事

【工事金額】

102,600,000円

【契約の相手方】

上北郡横浜町字家ノ前川目30番地14  
株式会社 工藤組 むつ横浜町営業所 所長 外井新一

**よこはま風力発電建設現場視察**

6月22日、横浜町議会全員協議会が開催され、よこはま風力発電建設現場の視察をしました。

視察では、初めに六ヶ所村に建設されている蓄電設備と変電所を見学し、(株)日立パワーソリューションズの高橋さんから説明をしていただきました。次に「むつ小川原港」に陸揚げされ保管をしている風車の部品を見学した後、雲雀平の建設現場を視察しました。ここには14機が建設される計画となっています。



蓄電設備・連系変電所の様子



むつ小川原港（保管状況）の様子



風車の部品取り付けの様子





## 町村議会広報研修会

5月25日、青森県労働福祉会館において、町村議会広報研修会が開催され、広報編集委員5名が参加しました。

- …講演… ①住民に読まれ 議会活動が伝わる「議会だより」の基本と編集  
②町村議会広報クリニック
- …講師… 議会広報サポーター 芳野 政明 氏



## 県下町村議会議員研修会

7月20日（木）リンクモア平安閣市民ホールにおいて、青森県町村議会議長会主催による県下町村議会議員研修会が開催され、8名の議員が参加しました。

- …講演… 「これからの政局・政治展望」
- …講師… ジャーナリスト 須田 慎一郎 氏



## 陳情

・農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情

(審議結果：原案採択)

提出者：青森市大野若宮165-19

青森県農民運動連合会

会長 森 淳一

・本県独自の学力状況調査の結果公表のあり方の検討を  
求める陳情書

(審議結果：議員配布)

提出者：青森市橋本1丁目2-25

青森県教育会館5階

民主教育をすすめる青森県民連合

代表 安部 喜美子

平戸 富治

渡部 秀逸

酒出 孝

## 発議

・農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書

提出者：小川和男議員

賛成者：飯田弘志議員

賛成者：澤谷松大議員

## 《議員活動報告》

5月23日(火)

\*産業民生常任委員会

5月24日(水)

\*総務教育常任委員会

5月30日(火)

\*議会運営委員会

(第2回定例町議会)

6月15日(木)

\*議会運営委員会

(第3回臨時町議会)

6月22日(木)

\*全員協議会

原子力災害避難計画について

よこはま風力発電建設現場視察

7月20日(木)

\*県下町村議会議員研修会

7月21日(金)

\*広報編集委員会

## 議会を傍聴しませんか

町の動きを知るよい機会です。  
多くの方が町政に関心を持ち、議会を傍聴することが議会活性化の一つです。

6月定例会の傍聴者は18人でした。  
次の定例会は9月(第3回定例議会)の予定です。  
みなさんの傍聴をお待ちしております。  
(詳しくは議会事務局まで)

みなさんの声をお聞かせください

町民の皆さんに親しまれる  
紙面づくりを目指し、ご意見、ご要望  
(傍聴された方のご意見も合わせて)  
お待ちしております。

広報編集委員会  
TEL78-2111 内線430・431